

# 算数科教育にかかわる現状と課題

部長 長谷川 義郎

## 1 算数科教育の動向

### 【上越地区】

上越市では、算数的活動を取り入れた思考力・判断力・表現力を高める授業について、教師の授業力向上をはかった。妙高市では、学力向上部会が中核となり、活用力を高める学習指導を推進した。糸魚川市では、新学習指導要領の趣旨や学ぶ意欲を高める授業を目指した取組を行った。柏崎・刈羽では、思考力・表現力を育む算数的活動の在り方をテーマとして、講師を招き研修会を開催した。

### 【中越地区】

三条市小教研算数部では、「算数における活用力」をテーマに、県外講師による授業研究会や講演会を開催し、教師の指導力向上を図る取組を行ってきた。

### 【下越地区】

新発田市では、新教育課程の実施に向け「算数的活動を生かした活用型授業の在り方」「思考力・判断力・表現力を高める算数授業の在り方」を主題に授業研究・講演会を実施してきた。また、部員がワークショップ形式でKJ法を活用した研究協議を行う等の運営面の工夫も図っている。

### 【新潟市】

新潟市の市小研では、学習した知識・技能を、生活の場面を取り上げた課題や発展的・応用的に考える課題の解決に活用することを通して、算数を学ぶ楽しさや有効性を感じ、いきいきと算数を学ぶ子どもの育成を目指して授業実践を行った。

新潟市立浜浦小学校では、県小教研の指定研究（1年次）に取り組んだ。研究主題を「数学的な考えを高め、表現力を鍛える授業づくり」と設定し、副題を「帰納的・類推的・演繹的な考え方を育てる授業構成の工夫と学習作文の書かせ方の工夫」として、県外から授業コンサルタントを招き、授業診断及び授業評価を受けるなどして教師の授業力向上を図っている。

## 2 算数科教育の課題

新しい教育課程では、算数的活動のより一層の充実を図るとともに、筋道を立てて考えることだけでなく、考えたことやその手順などを数学的手法（言葉、数、式、図、表、グラフなど）を用いて表現することに重点をおいた授業を工夫する必要がある。

少人数学習や課題別学習、習熟度別学習等の指導形態、個に応じた支援の在り方等の指導方法の工夫など授業改善に向けた研修の充実を図る必要がある。